

KOGANEI

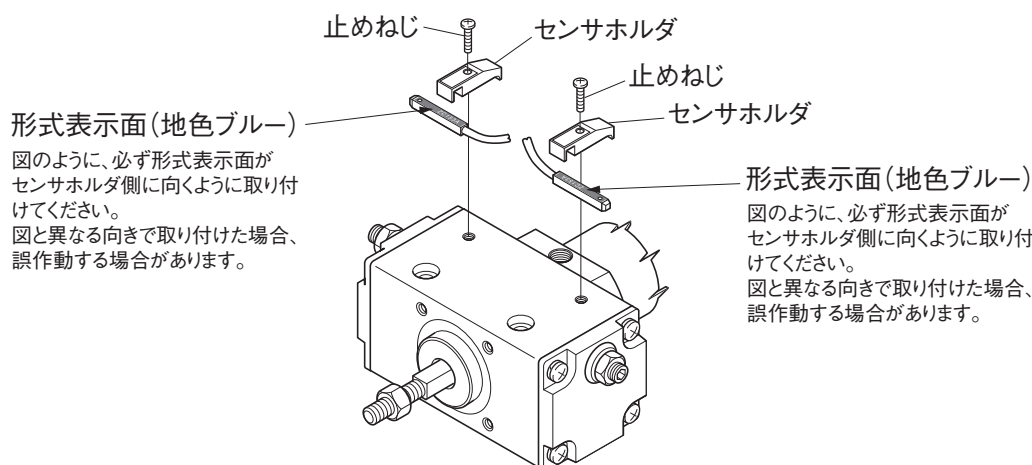
スイングシリンダの揺動部へのセンサスイッチ取付時のご注意

取扱説明書 Ver. 1.0

●このたびは、スイングシリンダをお買い上げいただきありがとうございます。

スイングシリンダの揺動部にセンサスイッチを取り付ける際は、必ずこの注意事項をお読みいただき正しく取り付けてご使用ください。

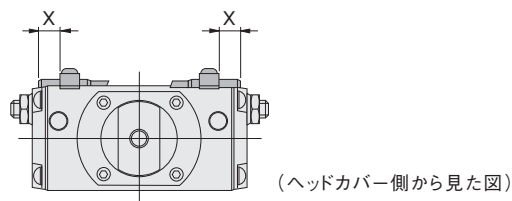
スイングシリンダ(基本形式SDA)の揺動部へZC1□□、CS5T、CS11Tセンサスイッチを取り付ける場合は、下図のように、必ずセンサスイッチの形式表示面がセンサホルダ側に向くように取り付けてください。なお、止めねじの締付トルクは29.4N・cm以下としてください。形式表示面の対面が感度面になります。



センサスイッチ取付位置

●揺動部

センサスイッチを図の位置に取り付けると、揺動端でマグネットがセンサスイッチの最高感度位置にきます。センサスイッチは、ホルダ止めねじをゆるめると移動することができます。



仕様角度検出センサスイッチ取付位置: X

mm

シリンダ形式	センサスイッチ形式		
	CS5T	CS11T	ZC1□□
SDA25×□-45, 135	6	9.5	7.5
SDA25×□-90, 180	9	12.5	10.5
SDA40×□-45, 135	4.5	8	6
SDA40×□-90, 180	9.5	13	11



1.ホルダ止めねじの締付トルクは29.4N・cm以下にしてください。

揺動角度60°以下に調整した場合、センサスイッチの作動範囲および応差の関係で左右のセンサスイッチが同時に検出(ON)してしまう恐れがあるため、

- ①センサスイッチを左右どちらか1個にする
- ②センサスイッチの最高感度位置からずれた位置(但し作動範囲内)で検出する。

以上の措置をとってください。

2.揺動部はピストンストロークが小さいため、正確な揺動角度を検出することはできません。

正確な角度検出が必要な場合は外部のリミットスイッチなどにより検出するようにしてください。

3.ラックとピストン(マグネット)は別体式ですから、空気圧力を印加しないでピストンロッドを揺動させると、両揺動端のセンサスイッチがON状態のままとなることがあります。揺動部のセンサスイッチは、空気圧力を印加して作動確認をしてください。

4.外部ストッパなどで揺動角度が制限される場合は、センサスイッチが左記の調節範囲内では作動しないことがありますのでご注意ください。



危険

必ず上記の取付方法をお守りください。

取付方法を誤ると

- ・センサスイッチが破損する可能性があります。
- ・センサスイッチが誤作動する可能性があります。

※その他、詳細な仕様および注意事項に関してはカタログを参照してください。
※製品に関するお問い合わせは最寄りの弊社営業所または、下記技術サービスセンターへお問い合わせください。



株式会社コガネイ

技術サービスセンター

TEL(042)383-7172